

地域医療により大きく貢献!!

いのち、 痛みに全力

FUKUOKA WAJIRO HOSPITAL

VOL. **42**

2018 / June

CONTENTS

1 TAVI 経カテーテル大動脈弁治療

2 脳梗塞のカテーテル治療

3 脳卒中チームの活動を始めました!!

4 平成30年度4月 新入職 Dr. 紹介

5 救急救命士気管挿管実習

6 あじさいネット

社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院

基本理念

手には技術

頭には知識

患者様には愛を

基本方針

1. 高度医療

学問的に高い水準の医療を提供します。
そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

2. チーム医療

患者様の目線に立った安全で安心できるチーム医療を提供すべく、急性期医療から、早期リハビリ、退院支援までニーズに沿った医療を提供します。

3. 地域医療

いつでもだれでも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域の中核病院を目指し、地域の医療施設・福祉施設と密接な連携を推進します。



カテーテルによる驚くべき進歩

開胸せずに 大動脈弁植込み術が できるようになりました。

第1血管造影室
Artis Zee FA (SIEMENS社製)

大視野のX線検出器を搭載し、CT画像と血管造影画像を合成した3D支援画像を用いて精密で正確な冠動脈・不整脈・頭頸部・体幹部・四肢、全身の血管内治療・検査が可能になりました。

第2血管造影室
Trinias B8 (島津製作所社製)

心臓(冠動脈)の血管内治療に特化した装置で、同時に2方向の撮影が可能で造影剤使用量が以前の約半分で治療・検査が可能になりました。(約20mlでの冠動脈造影検査が可能です。)

※2機種ともに以前の機種と比較し治療・検査中の放射線の量が約50%低減されています。

高齢者に多い大動脈弁狭窄症!

大動脈弁狭窄症は、大動脈弁が硬くなって開きが悪くなり、血液の流れが妨げられてしまう疾患。

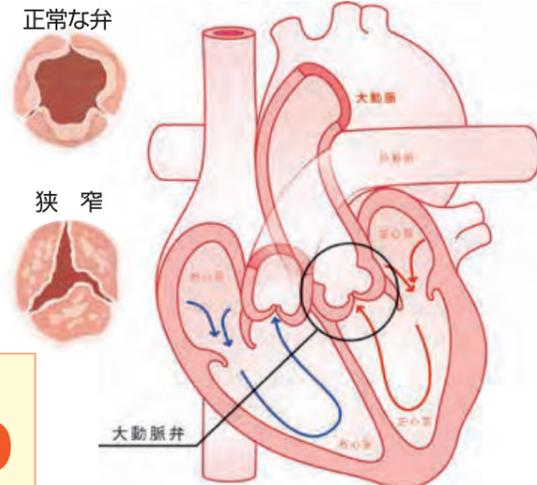
自覚症状が少なく、知らない間に進行するサイレントキラー

症状 息切れ・狭心症・疲労・失神
その他(頻拍、不整脈、動悸) ▶ 軽度のうちは自覚症状が少ない



加齢を原因とするものが増加
▶ 原因は、加齢性・リウマチ熱・先天的要因

症状発現後の
2年生存率は **50%**



TAVI

経カテーテル大動脈弁治療
新しい治療法(TAVI)が加わりました

Transcatheter Aortic Valve Implantation

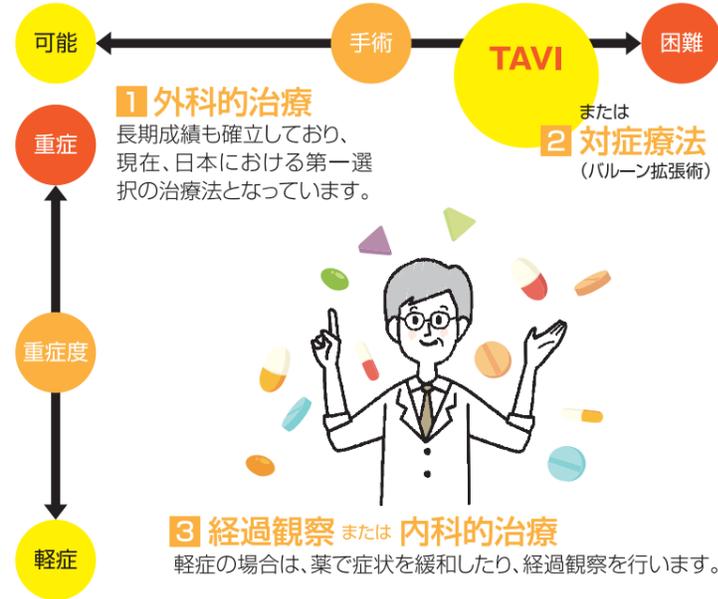
大動脈弁狭窄症の治療法 3つ

大動脈弁狭窄症に対する治療法として、以下の治療法が選択肢となります。

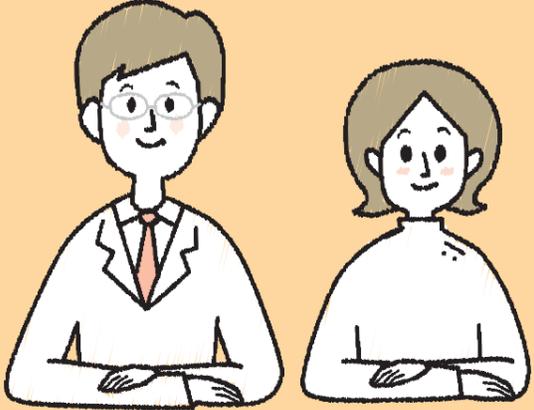
気づかれていない
大動脈狭窄症

- ☑ 息切れがある
- ☑ 疲れやすい
- ☑ むくみが出る
- ☑ ふらつきが出る

実は
心臓病かもしれません!



開胸することなく、心臓を止めることなく行える TAVIのメリット



- 1 新しい選択肢**
高齢による体力低下やその他の疾患リスクがあり、外科的治療が出来ない患者さんの新しい選択肢になります。
- 2 少ない身体の負担**
開胸せず、心臓を止めることもなく、カテーテルで人工弁を患者さんの心臓に留置するので、患者さんの体への負担が少なくすみます。
- 3 QOL が向上**
手術時間と入院期間が短く、比較的に早い患者さんの回復と社会生活への復帰が期待できます。

脳卒中チームの活動を始めました!!

TEAM: APOPLEXY

急性脳梗塞治療について

近年、脳梗塞発症4.5時間以内のt-PA治療（血栓溶解療法）が、日本で定着してきましたが、t-PA治療のみでは十分な再開通が得られないことも多くありました。そのため、2010年にカテーテルによる血管内治療（血栓回収術）が、脳梗塞治療の適応となり、2017年に脳卒中ガイドラインで、発症4.5時間以内の脳梗塞のt-PA治療と共に、6時間以内の血栓回収術が「強く勧められる」に改定されました。当院でもこの血栓回収術を積極的に取り入れ、機材の改良も行われ、より早く再開通できるようになりました。

福岡和白病院

脳卒中チームの取り組み

当院の「脳卒中チーム」では、定期カンファレンスにて患者情報を部署間で共有し、診療の質の向上と患者様満足度の向上を目指しています。また、脳梗塞の急性期診療は、総合診療救急科、放射線科、検査科、臨床工学科との連携による早期診断と治療を行い、急性期治療後は早期リハビリテーションや認定看護師による患者様指導の充実を図っています。

福岡和白病院

チーム

- 脳神経センター
- 総合診療救急科
- 放射線科
- 検査科
- 臨床工学科
- リハビリテーション科
- 薬局
- 栄養科
- 手術室
- 看護部
- 認定看護師
- 退院支援(看護師、社会福祉士)

福岡和白病院の 治療実績

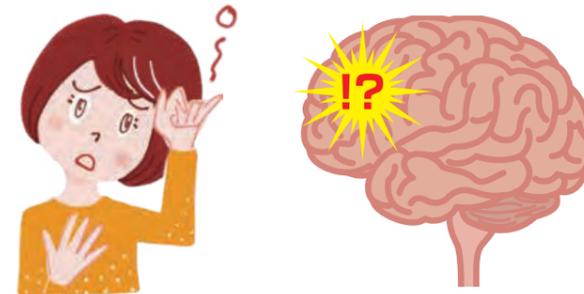
当院では2017年に入院された脳梗塞患者様370名に対し、t-PA治療23件、血栓回収術40件施行しました。



(文責 脳神経センター 脳血管外科 原田 啓)

脳梗塞のカテーテル治療

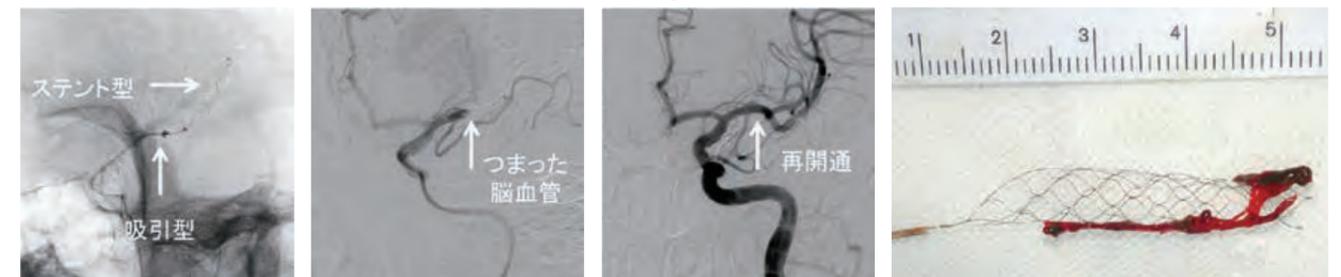
脳梗塞は突然脳の血管がつまる病気です。



脳はたくさんの血液を必要とする臓器で、いったん血流がとたえると数時間で壊死（えし）し、その部分は回復しません。現在、t-PA治療（血栓溶解療法）という血栓を溶かす薬剤を注射する治療が、救急診療で浸透していますが、重症の脳梗塞では改善が見られない事が多く、また、治療の適応にならない場合は使用できません。このような患者様に対して福岡和白病院では、速やかにカテーテルによる血管内治療（血栓回収術）を行う体制を整備しています。

血栓回収術

カテーテルという管を、足の血管から頭の脳血管へ進めて、詰まった脳血管の血栓を吸引回収し脳血管を再開通させます。



吸引型カテーテル

詰まった血栓を吸引して除去する。

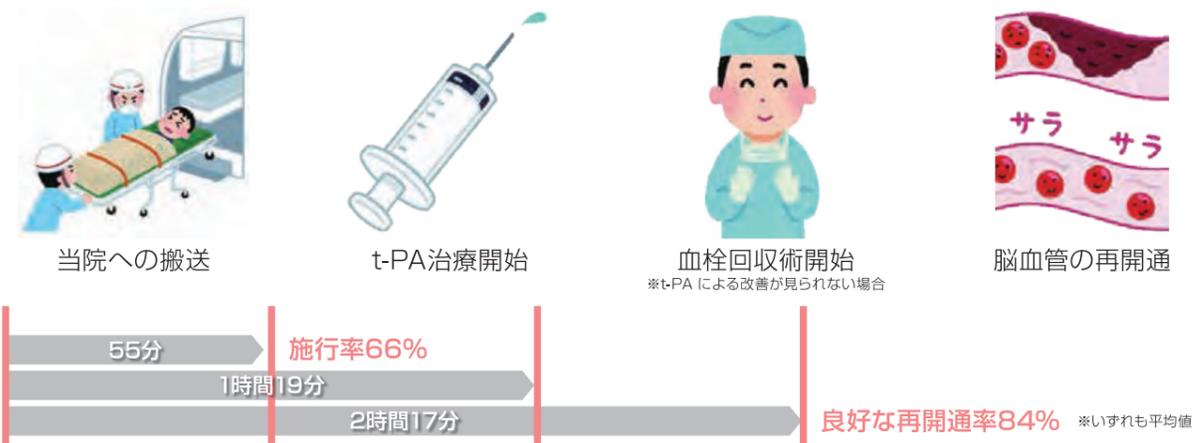
ステント型血栓捕獲装置

詰まった血栓を吸引して除去する。

当院での実績

脳梗塞血栓回収術の時間経過

(2014年から2016年の実績)



当院ではt-PA療法、血栓回収療法ともに全国平均より速く開始することができており、当院で治療を行った患者様のうち49%の方が元の自立した生活に戻れました。それでも約半数の方は後遺症や生命の危機に及びます。今後もさらなる治療の改善に取り組んでまいります。



医局 イリ フネ タク
入船 拓
研修医 ■産業医科大学(H30年卒)

研修医1年目の入船と申します。今まで大学で学んできた知識を活かし、医師として日々研鑽し、患者様に寄りそった医療を提供したいと考えております。笑顔を第一に、元気な姿で取りこんでいきますのでよろしくお願い申し上げます。



医局 トミハラ カズキ
富原 一貴
初期研修医 ■九州大学

研修医1年目の富原一貴と申します。患者様に寄り添う医師でありたいと考えております。まだまだ未熟者で至らぬ点多々あるかと思いますが、どうかよろしくお願い申し上げます。



医局 ナカシマ テルヒト
中島 輝人
研修医 ■川崎医科大学

この度、研修医として医療を学ばせていただく中島輝人と申します。大学時代で学んだ知識と部活により培われた体力と精神力で誠心誠意努力していこうと考えております。至らない点もありますがよろしくお願い申し上げます。



医局 シロマ ヒロシ
城間 大
研修医 ■高知大学医学部(H30年卒)

少しでも力になれるように一生懸命がんばりたいと思います。



医局 ヤマベ ユウスケ
山部 雄亮
初期研修医 ■久留米大学

まだ右も左も分からぬ未熟者ではありますが、少しでも患者様のお力になれるよう日々精進していきたいと考えております。



医局 キム ミンジュ
金 碭圭
研修医 ■釜山大学(韓国)医学部(H27年卒)

こんにちは。私は韓国人の医者、金碭圭と申します。私は、患者さんの病気だけではなく精神的な面でのサポートもでき、一緒に寄り添っていけるような心の暖かい、いつも患者さんのことを第一に考える医者になれるように頑張ります。悩みや大変なことがあれば、いつでも気軽に声を掛けてください。ありがとうございます。



医局 ヨシダ ツカサ
吉田 司
研修医 ■大分大学

平成30年4月に池友会福岡和白病院に入社しました。吉田司と申します。研修医として知識や技術を身につける事もそうですが、患者様一人ひとりに向き合った医療を目指し日々精進いたします。



医局 サトウ ショウマ
佐藤 翔生
研修医 ■大分大学

若手らしく熱意を持って頑張っていこうと思いますのでよろしくお願い申し上げます。



入職式

福岡和白病院と福岡和白総合健診クリニックで合わせて100名の新しい職員を迎え、平成30年4月2日、新入職員入職式が執り行われました。新入職員代表者からは「専門的な看護を行う為の知識と技術を身につけ、そして患者様の気持ちを思いやり、患者様から私が担当看護師で良かったと言ってもらえる看護師を目指します。」と初心の思いを述べました。

その後2日間のオリエンテーションでは、真剣なまなざしで各部署の先輩職員の話に耳をかたむけ、お昼にはお弁当を食べながら、それぞれ自己紹介を含め、新しい仲間と今後の抱負を語り合いました。

平成30年度 4月 MESSAGE FROM DOCTOR&OFFICER DEPARTMENT. 新入職Dr.



外科 シンカイ ケンタロウ
新海 健太郎
日本外科学会専門医、医学博士、マンモグラフィ読影認定医、癌治療認定医 ■長崎大学(H17年卒)

消化器や肝胆膵領域悪性腫瘍、胆石、ヘルニア、腹部救急に対する手術を中心に診療を行っています。これまで勤務してきた病院では腹腔鏡手術も積極的に導入してきましたので、腹腔鏡手術希望の患者様につきましてもいつでもご連絡いただければと思います。ご紹介いただいた患者様が、感謝や満足をもって先生方のもとへ帰れるよう一人ひとりの患者様の希望に沿った診療を心掛けますので、お気軽にご相談いただければと思います。



脳神経外科 コマタニ ヒデキ
駒谷 英基
日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脊髄外科学会認定医、日本抗加齢医学会専門医 ■久留米大学医学部(H13年卒)

私はこれまで北九州を中心に脳神経外科診療に従事させていただいておりました。専門は脳血管障害で特に脳動脈瘤直達手術や血行再建術を中心に研鑽してまいりました。この度、ご縁をいただき和白病院での勤務をさせていただくことになりました。今までの経験を福岡地域の方々に丁寧かつ安全にご提供できるよう努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。



乳腺外科 ニシヤマ ヤスユキ
西山 康之
日本乳癌学会専門医、日本外科学会専門医、日本がん治療認定医機構認定医、検診マンモグラフィ読影認定医 ■熊本大学

乳がんの治療方法は、手術、薬物療法、放射線療法と多岐にわたります。また、治療の組み合わせや順番は、病状(がんのステージ・がん細胞の性質・それぞれの体調やとりまく環境)によって大きく変わってきます。私たちは、一人ひとりに最適な治療方法を提案します。がん治療に不安はつきものです。不明な点はなんでもご相談ください。



心臓血管外科 コガ マサタカ
古賀 雅貴
宮崎大学医学部(H28年卒)

4月より心臓血管外科専修医として働かせていただいている古賀と申します。心臓で苦しんでいる人を少しでも助けられるよう日々頑張りたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。



内科 カジタニ タツヒロ
梶谷 竜裕
日本内科学会認定医 ■大分大学医学部卒(H22年卒)

医師のみならず、多職種と協力しながら、がん患者さんの化学療法を中心に診療させていただきます。患者さん個人個人にとっての適切な治療を目指すことに尽力いたします。



内科 循環器内科 ノダ ヒロチカ
野田 裕剛
九州大学医学部(H23年卒)

全身を診る。また病気だけでなく、1人ひとりの患者様の背景まで気を配るような診療をしていきたいと思っています。



心臓血管外科 救急科 外科専門医 ムラタ ヨシスケ
村田 由祐
佐賀大学医学部(H21年卒)

心臓血管外科を専門としておりますが、救急医療においても地域の皆様に貢献できるよう頑張ります。



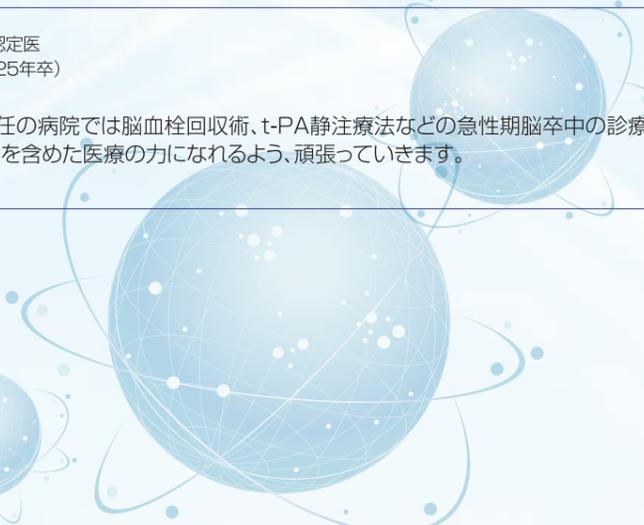
脳神経外科 サンコダ ケンキヒロ
三小田 享弘
日本内科学会認定医 ■山口大学(H25年卒)

この度、福岡和白病院に入職することとなりました。前任の病院では脳血栓回収術、t-PA静注療法などの急性期脳卒中の診療、治療を数多く行ってまいりました。福岡市東区の脳卒中を含めた医療の力になれるよう、頑張っていきます。



外科 専修医 オヤマ コウキ
小山 虹輝
九州大学医学部(H26年卒)

消化器疾患・胆石・ヘルニア・急性腹症をはじめ、一般外科領域を診させていただいております。よろしくお願いいたします。



+ 救急救命士 気管挿管実習



当院では救急救命士を含む消防署職員に対して様々な研修を行っております。

救急隊員の中でも救急救命士の方々は、心肺停止患者などに気道を確保するためにチューブを口から挿入する気管挿管という手法を用います。ただ、この手法を現場にて行うためには、実際の患者様に対しての実習を経験しなければならず、当院では、この実習の受入を行っています。気管挿管成功症例30症例で修了となるこの実習では、当院の富永昌宗麻酔科部長による指導のもと、本年度も4名の救急救命士が修了され、今後の人命救助現場で大活躍される事と思っております。修了おめでとうございます。

この実習に、ご理解していただき同意していただいた患者様に対して感謝の意を表します。

また、現在、58人目の救急救命士を指導中であり、富永昌宗麻酔科部長より厳しく優しく指導して頂いております。



あじさいネットに 加入いたしました

平成30年2月に「あじさいネット」という長崎県を中心に展開している、医療情報ネットワークに加入いたしました。

この医療情報ネットワークは、長崎県の診療情報を提供する病院(対馬や壱岐も含む)から、患者様のご紹介があった際に、紹介先病院のMRIやCTの画像、検査情報、治療内容などを当院で閲覧することが可能となります。

当院には、対馬や壱岐の病院から、頭や心臓の手術、重度な外傷の手術が必要な患者様が、当院のホワイトバード(患者搬送用ヘリコプター)を利用して、入院されることが多くあるため、よりスムーズな医療を提供できるよう、あじさいネットに加入いたしました。



災害拠点病院 開放型病院 地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院 基幹型臨床研修指定病院



社会医療法人財団 池友会
福岡和白病院

福岡和白

〒811-0213 福岡市東区和白丘2-2-75
TEL.092-608-0001(代)
E-mail:info@f-wajirohp.jp
ホームページ <http://www.f-wajirohp.jp>
フェイスブック <http://www.facebook.com/wajiro>



ホームページ



フェイスブック